

デュナミクス

ΔΥΝΑΜΙΣ

Nanzan University Reiners Central Library Bulletin



Contents

特集

図書館の貴重書 ～二十四孝～

- P.2 新収「二十四孝」コレクションについて 森田貴之
- P.4 レクチャートーク「版本の現物からわかること」
- P.6 学生選書紹介「私のおすすめの2冊」
- P.8 教員著作紹介「本棚の向こう側」 畑野小百合

～教員著作紹介～ 本棚の向こう側

外国語学部ドイツ学科准教授 畑野小百合

フリッツ・クライスラー(1875～1962年)は、オーストリア出身の20世紀を代表するヴァイオリニストであり、《愛の喜び》や《美しきロスマリン》等の作品で広く知られる作曲家でもある。もしこの名前にピンと来ないようであれば、彼自身の演奏の録音に一度耳を傾けてみてほしい(インターネット上で容易に見つけることができるはずだ)。艶めかしくて血の通った音色、心躍るようなリズム、洒落な旋律の歌い回しには、「これぞクライスラー!」と思わせる強烈な個性がある。その個性は、大戦間期に一世を風靡し、レコードやラジオの発展にも後押しされて、世界の音楽ファンを魅了した。温もりのある演奏に加え、そのチャーミングな人柄でクライスラーは世界的な人気者となり、全盛期には彼の一挙手一投足にマスメディアの関心が集まった。

クライスラーの生誕150周年にあたる2025年に、この音楽家の評伝の拙訳を出版することができた。マティアス・シュミット(バーゼル大学教授)によるドイツ語の原著は、2022年に出版されている。もちろん、クライスラーの伝記はこれ以前にも存在していた。特に1950年に英語で出版されたルイス・ロックナーによる伝記は広く読まれ、よく参照されてきた。ジャーナリストであるロックナーは、クライスラーとその妻ハリエットによる積極的なサポートを得てこの著作を完成させた。



そのためこの伝記には、本人しか知り得ないようなエピソードもたしかに含まれているのだが、クライスラー夫妻による一種の情報操作があったことも徐々に明らかになってきた。つまりロックナーの著作では、クライスラー自身が望んだ

フリッツ・クライスラー： 変幻自在なヴァイオリニスト

マティアス・シュミット著；
畑野小百合訳
音楽之友社、2025 762K||1065



イメージが前面に押し出されている一方で、不都合な情報が省かれたり改変されたりしているのだ。

音楽学者のシュミットによる新しい評伝は、著名でありながら伝記的情報があまり精査されてこなかったクライスラーに、新しい光を当てるものだ。そこでは、ひとりの音楽家が20世紀前半の社会の動向に翻弄されながら道を見出し、国際的な活動を展開していった軌跡が学術的な調査に基づいて綴られている。それは、無垢な芸術家のサクセス・ストーリーではない。著者によれば、一見無頓着に見えるクライスラーの振る舞いの背後には、綿密な計画があった。変わりゆく情勢の中で、真偽の不確かな逸話を振り撒いたり、ユダヤの出自をカムフラージュしたりしながら、彼は飄々と世界を渡り歩いていった。またクライスラーは、演奏でも作曲でもさまざまな様式を巧みに使い分けることができた。その変幻自在な姿はいかにして形成されたのか。成功の裏側で彼は何に直面し、どう変化しなくてはならなかったのか。本書では、数多くの一次資料や同時代人たちの証言を通してその実態が明かされる。

翻訳の出版に合わせて、学内のG30教室でクライスラーに関するレクチャーコンサートを開催し、学生たちと共にクライスラーの音楽に耳を傾けることができた。また同年度には、私のゼミに所属する学生のひとりがクライスラーに関する優れた卒業論文を執筆し、卒業していった。この先も、この本がクライスラーの音楽とそれを生み出した時代への関心を喚起する一助になることを願っている。

Rapid ILL
はじめました!

海外の論文が0円で手に入る…かも!?

2026年4月に海外の文献複写取り寄せサービス「Rapid ILL」を導入しました。Rapid ILLで入手可能な文献はPDFデータを無料で提供します。詳しくはサービスカウンター(レファレンス)でおたずねください。

編集後記

今号では、江戸時代のベストセラー本の一つ「二十四孝」を特集しました。記事を通して古典の面白さを感じていただけたら嬉しいです。学生のみなさんからのおすすめ本、教員著作紹介もありますので、そちらもぜひご覧ください。

ΔΥΝΑΜΙΣ

図書館報 デュナミス No.83
2026年10月1日発行

南山大学ライネルス中央図書館 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
TEL.052-832-3707 <https://office.nanzan-u.ac.jp/library/>

ISSN:0917-4508

編集：南山大学ライネルス中央図書館
撮影協力：南山大学写真クラブ FOCUS

デュナミス
バックナンバー



新収「二十四孝」コレクションについて

人文学部日本文化学科教授 森田貴之

「二十四孝」とは、中国古代の親孝行の人物24人の親孝行の逸話を集めたものです。最も古いものは唐代ごろにまでさかのぼりますが、おもに元代・明代に中国で広まったものが日本にも伝来しました。「孝」とは、「子が親に孝養を尽くす」という道德思想で、「孝は徳の本なり」（『孝経』）といわれるように、儒教の重要な徳目でした。儒教は東アジアの漢字文化圏共通の思想でしたから、朝鮮やベトナムでも「二十四孝」関連書が多数出版されています。

日本では、今はほぼ忘れ去られていますが、落語、歌舞伎、浮世絵など、他ジャンルにまで影響を及ぼし、実によく知られていました。明治初期に御雇い外国人として来日したチェンパレンは、「日本の人びとにとって、「二十四孝」の話ほど好きなものはない」（『日本事物誌』、原題"Things Japanese", 1890）と言っているほどです。

今回、あらたに南山ライネルズ中央図書館に収蔵されたのは、この「二十四孝」をはじめとする孝子説話研究の第一人者であった徳田進氏の旧蔵本（四孝文庫旧蔵本）の一部で、主に1600年代以降に日本で出版された「二十四孝」関連書のコレクションです。本コレクションは、中国で生まれた古典が、海を越え、日本においてどのように展開したのかを一望できる資料群です。そのいくつかを紹介します。

文学作品の多くの場合、本文が主で、挿し絵は従の関係です。それに対し、「二十四孝」は、読むものである以上に、見るものでもあったようです。中国の文学者魯迅は「中の物語は、誰でも知っているもので、字を読めない者、たとえば阿長でも絵をみただけでその物語を一席滔滔と弁ずることができた」（『朝花夕拾』、1927）と書いています。やや過激ともいえる親孝行の印象的な場面が絵として切り取られて提示されることで、ストーリーが印象づけられ、その孝行心が容易に感得できるようになっているのです。各作品の挿絵にも是非注目してほしいです。

原文から日本オリジナル作品まで

①「二十四孝」本文の出版

日本で最初に出版された「二十四孝」は、嵯峨本と呼ばれる高級絵入り本でした。平易に和文化的な本文があり、各故事一図の挿絵を持っていました。ただ、この嵯峨本は非常に希少価値が高いものでしたので、その嵯峨本を模した本が多数作られることになりました。本コレクションのなかにも、嵯峨本の模刻本が3点が含まれています。模刻本といっても、それぞれ行数や標題部分の書式などの細部には違いがあり、繰り返し作られたことがわかります。

また、明代に中国で出版されたものを日本で覆刻し、訓点などを加えて読みやすくしたものもあります。これを和刻本といい、『分類二十四章孝行録註解』や『新鍳類解官様日記故事大全』は明刊本の和刻本です。これを見ると、中国でも早くから挿絵入りの形態（全相本といいます）で出版されていたことがわかります。



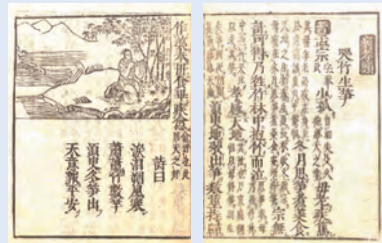
▲『二十四孝』十行本



▲『二十四孝』九行本



▲『二十四孝』九行別本



◀(左)『分類二十四章孝行録註解』
(右)『新鍳類解官様日記故事大全』巻1



中国古来の道德観を伝える「二十四孝」日本においても長く読み継がれてきました。この物語を今に伝える貴重な資料について森田貴之先生にご紹介いただきます。

Focus

②「二十四孝」注釈書の出版

本文の普及とともに求められるのは、その注釈書（解説書）です。日本で、たくさんの注釈書が作られました。例えば『頭書二十四孝』は、嵯峨本模刻本以来の継承されていた「二十四孝」の定番である上下二段構成を三段構成とし、新たに「注釈」部分を付け加えています。『二十四孝諺解』も非常に広く読まれました。嵯峨本の構図をもとにしつつ、より精密で大きく描かれた挿絵があり、人気を博したようです。本コレクションのなかに計5点が含まれますが、そのいずれもが出版時期や出版者（書肆といいます）が異なる版で、それだけ広く求められ、幾度も出版されていたことがわかります。



▲『頭書二十四孝』



▲『二十四孝諺解』

③「二十四孝」派生書の出版

オリジナルの「二十四孝」から派生した作品も数多く作られました。

1. 新「二十四孝」

…従来の「二十四孝」に加えて、新たな24人の孝子を選んだものです。『新板絵入和解孝子伝』下巻、『新二十四孝諺註』（『忠孝夜話』）、『続二十四孝絵抄』などがそれに当たります。皇帝である「太舜」から始まる「二十四孝」に対応するように『新二十四孝諺註』は、「周文王」、「新板絵入和解孝子伝」は「虞舜」から始まっていて、形式を踏襲しています。

2. 日本版「二十四孝」

…『倭二十四孝』（楽亭西馬）や『皇朝二十四孝』（松平容敬）などがあげられます。「倭」も「皇朝」も日本という意味で、日本版「二十四孝」です。ともに「仁徳天皇」からはじまる24名が選ばれ、養老の滝の逸話や、母赤染衛門との親子愛が知られる大江掬子などが共通しています。日本の歴史上の人物の誰が、「孝子」に位置づけられたのか、その人選がとても興味深いものです。

3. 不孝者版「二十四孝」

…孝行心の甲斐あって天の助けを得た孝子を手本として集めたものが、本来の「二十四孝」ですが、それとは逆に、孝行心がなかったことで、天の報いを受けてしまう人物を集めたものがあります。本コレクションでは『善悪かみ草』がそれにあたります。実在の人物や伝説だけではなく、「二十四孝」をもじって作られた話も含んでいます。同種の作品では井原西鶴の浮世草子『本朝二十不孝』が有名で、本書はその影響作です。



▲『新二十四孝諺註(上下)』下巻



▲『倭二十四孝』



▲『善悪かみ草』

ここに紹介したもの以外にも、僧侶の伝を集めた『釈氏二十四孝』や中国・日本の「貞女」を集めた『和漢二十四貞女伝』など、そのバリエーションは多彩です。「二十四孝」という形式や型がしっかりと定着していたからこそ、このように多様な広がりを見せたのです。

「二十四孝」関連書は、明治期まで綿々と出版され続け、日本文化の一部になっていました。たくさんのコレクションのすべてをここで紹介することはできませんが、図書館Webページでそれらが公開されています。ぜひ、御覧ください。

図書館Webページ
デジタルライブラリー
「二十四孝」はこちらから



レクチャートーク

「版本の現物からわかること」

図書館に新しく収められた貴重書「二十四孝」
これら版本の実物に触れながら和本についての解説を
学生の皆さんと一緒に森田先生からうかがいました。
その様子をご紹介します。



貴重書に触れる

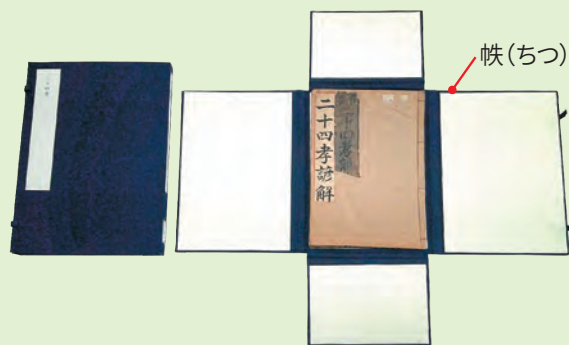
森田先生 これらの資料は図書館に所蔵されている和本の貴重書です。今日は実際に触れてみましょう。それでは、指輪や腕時計を外して手を洗ってきてください。私も研究機関で古典籍を見せてもらう機会がありますが、資料を見ることに夢中になって、外した指輪を見失いそうになったことがあります。それくらい実物を見るのは楽しいんですよ。

学生 (学生たちから笑いが起こる)

和本の特徴

学生 これが一冊の本、今の本とはずいぶん違いますね。思ったより柔らかいですね。

森田先生 まず大きな違いは、和本は基本的に立たないことです。洋装本には背表紙がありますよね。でも和本は紙を折って糸で綴じているだけなので、自立できません。だから箱に入れて保存されます。こうした帙(ちつ)と呼ばれる収納ケースに入れることで、立てて保管できるんです。私も大切な和本は帙を作って保管しています。



図書館 最近の図書館では、中性紙で作られた保存袋や箱を用いることが多くなってきました。

一枚の和紙

森田先生 この本は一枚の和紙を半分に折って作られています。とても薄いですね。虫食いはよくありますが、とても丈夫なものです。こうした形式を「袋綴じ」と呼びます。縦書きの原稿用紙の中央線に少し似ていますね。書名や巻数、ページ番号などが記されていて、製本するときの目印にもなっています。袋綴じの内側を合わせる裏打ちで補強されることもあります。図書館ではどうですか？

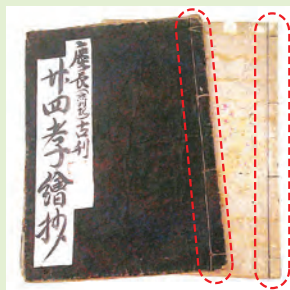
図書館 補修が必要な場合には専門業者へ依頼します。

森田先生 そして糸で綴じる。

和紙は丈夫ですが、この糸が切れることがよくありますね。古書店でも糸が切れている状態のものが多くみられます。どこが綴じのスタートで終わるか、わかりますか？

私も購入した本の糸切れは、自分で「針」と「糸」で綴じなおします。「針」と「糸」ととても単純です。

学生 綴じの体験もしてみたいです。先輩もやっていたよね。



二十四孝には絵が多い？

森田先生 ここに並べられた資料は『二十四孝』です。

学生 文字と絵がありますね。

森田先生 それが『二十四孝』の大きな特徴なんです。実は本文以上に、絵が重要だったとも言えます。親孝行の話を文章だけで伝えるのではなく、印象的な場面を絵で見せるんですね。たとえばこれ。真冬に母親が魚を食べたいと言ったので、息子が裸で氷の上に寝そべり、氷を溶かして魚を手に入れる話です。

学生 そんなことできるのですか？

森田先生 できるわけがありませんね(笑)。でも、一度見たら忘れないでしょう？そこが大事なんです。『二十四孝』は「そのまま真似しなさい」という本ではなく、「親孝行とはこういうものだ」と強く印象づけるための物語なんです。



同じ本？

(三冊の『二十四孝』を指しながら)

学生 これ、全部同じ題ですよね？

森田先生 実は全部違います。同じ話、同じ内容ですが、版が違います。よく見比べてみて。よく見ると、文字の配置が違いますね。行数も違う。絵の描き方も少しずつ違う。つまり、それぞれ別の版木で刷られているんです。

学生 たくさん作られたんですか？

森田先生 人気があったようですね。版木は使ううちに摩耗するため、一部を埋め木して修正したり、新たに彫り直したりする必要が生じます。また別の出版者が出版したり、別の地方で出版されたりもします。だから版がたくさん残っている作品ほど、多くの人に読まれていたことが分かります。こちらは少し印象が違うでしょう？

学生 絵が簡単ですね。スペースも。

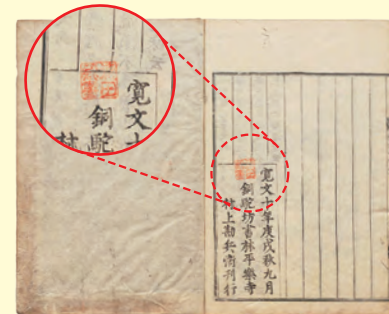
森田先生 そうなんです。紙も節約されていますし、文字もぎっしり詰まっています。いわば廉価版ですね。大量に求められる作品は、こうした安価な版も作られます。現代でいえば、愛蔵版と文庫本の関係に近いかもしれません。

学生 これには刊記が無いようですが…

森田先生 刊記も書き加えられたり、削られたりします。これなんかは、表紙裏の補強に違う本の紙の一部が用いられ、一瞬表題と違う本かと思いますが、よく見るとその仕組みがわかりますね。中には版木が一部分違うものもみられます。後世に持ち主が変わってその人により補強、補修が施され、題箋も表紙の紙も変えて大切に保管されてきたものも多いですね。皆さんも丁寧に、いろいろ見てみてください。

学生 こちらの本にも同じ印が押されていますね。

森田先生 これは蔵書印ですね。本の所有者の印鑑のことです。



Focus



落書き？

学生 これは？刷じゃないですよね？あとから描いたみたいだな…

森田先生 そうそう、これ、落書きです。しかも結構たくさんあります。これはこの虎の絵を真似して描いたんでしょうね。下手ですね(笑)。おそらく子どもです。皆さんも教科書に落書きしませんでしたか？この本は往来物、つまり寺子屋などで使われた教科書に近い性格を持っています。だから落書きも残るんです。



学生 落書きも貴重ですか？

森田先生 もちろんです。手ずれの跡、落書き、紙の傷み方、出版者の名前、版木の修正跡。こうしたものから、その本がどのように読まれ、誰に使われ、どこへ広まったのかが見えてきます。文章だけでは分からない歴史が、本そのものに刻まれているんです。

森田先生 『二十四孝』は江戸時代を通じて広く読まれ、何度も版を重ねて全国で出版され、寺子屋の教材にも使われました。そのため多くの版が残り、それぞれに読者の痕跡が刻まれています。版や絵の違い、落書きや補修の跡をたどることで、江戸時代の人々がどのように本を受け継いだのかが見えてきます。

図書館 今回は版本を実際に手に取りながら、構造や出版の仕組み、そして資料に残されたさまざまな痕跡について知ることができたのではないのでしょうか。森田先生のお話からは、文字だけの情報だけでなく、本そのものを観察することで新たな発見が生まれることが伝わってきました。皆さんには、版本や資料の面白さに触れる機会となったことと思います。

Picks

～ 学生選書紹介～ 私のおすすめの2冊

2025年度に「学外書店選書ツアー」「図書館研修生」に参加した学生のうち、7名の学生が自ら選書した本のなかから特におすすめの2冊を紹介してくれました。是非読んでみてください。



人文学部人類文化学科2年（選書ツアー）

ネコは（ほぼ）液体である：ネコ研究最前線



服部門 [著者].
KADOKAWA, 2025.
BROW||640||221
猫好きの間では有名な一説から始まり、猫への愛を通して色々な研究に触れられます。猫の意外な側面を知ることができ、驚きと発見の連続です。

ドールハウスの惨劇



遠坂八重著 = The Tragedy of D.
祥伝社, 2025.
BROW||910||3360
"学内便利屋"として事件を解決している高校生の凸凹コンビが、小さなことをきっかけに惨劇に巻き込まれていきます。こういうミステリーが読みたい！が正に詰め込まれた一冊だったので選びました。

人文学部日本文学科2年（研修生）

座右のラテン語：人生に効く珠玉の名句65



ヤマザキマリ, ラテン語さん著.
SBクリエイティブ, 2025.
BROW||150||81
ラテン語に関する書籍は少なく、普段あまり触れることのない言語ですが、名句を通して人生の考え方や価値観に触れられる一冊です。

本当の自由を手に入れるお金の大学



両@リベ大学長著. 改訂版.
朝日新聞出版, 2024.
BROW||590||35
お金の勉強をすることは大切だから選びました。お金の不安を減らす実践知識が会話形式で分かりやすく、一気に学べる一冊です。関西弁の語り口も魅力。

法学部法律学科2年（研修生）

今日、地球人をやめる。：「日常」が面白い「物語」になる15の裏ワザ



OZworld, ひすいこたろう著.
扶桑社, 2025.
BROW||150||939
「地球人をやめる」というタイトルに惹かれました。日常を前向きに捉え直し、自分の人生を楽しむヒントをくれる一冊です。

くもをさがす



西加奈子著.
河出書房新社, 2023.
BROW||910||3383
闘病生活という著者のリアルな経験を通して、困難のなかでも自分らしく生きる大切さを考えさせられ、勇気づけられる一冊です。

やなせたかしの素顔：のぶと歩んだ生涯



伊多波碧 [著].
潮出版社, 2025.
BROW||910||883
朝ドラ「あんぱん」を見てやなせたかしに興味を持ったため選びました。とてもほっこりするあたたかいお話です。事実に基づいているので、フィクションの朝ドラと比較するのも楽しいと思います。

経済学部経済学科4年（選書ツアー）

漫才過剰考察



高比良くるま著.
辰巳出版, 2024.
BROW||770||73
くるまさんが出演する番組での彼の発言や考えなどが面白いな、と思っていました。お笑いが好きな方に是非読んでもらいたい一冊です。

人文学部心理人間学科3年（選書ツアー）

架空犯



東野圭吾著.
幻冬舎, 2024.
BROW||910||905
東野圭吾の小説が好きなので選びました。ミステリー小説でありながらも家族の絆、人間の心の闇などを描き、読み始めたら面白くて止まらず、一気に読んでしまいました。おすすめです！

イクサガミ



今村翔吾 [著]; 天.
講談社, 2022.
BROW||910||896
Netflixでドラマ化されるということで気になって選書しました。明治時代に行われたデスゲーム。先が気になりすぎて読む手が止まりませんでした。

人間文化研究科 博士前期課程1年（選書ツアー）

切り絵アートで魅せる現代数学の世界 = The world of modern mathematics through papercutting art



岡本健太郎著.
技術評論社, 2025.
BROW||410||4
数学的なキャプションのついた「切り絵アート」の図録として本書を読むと、切り絵と数学の美しさに少し接近できます。最近数学に触れてないあなたにも、この魅力が伝わるはず！

ある行旅死亡人の物語



武田惇志, 伊藤亜衣著.
毎日新聞出版, 2022.
BROW||910||914
孤独死という重い社会問題と葬いのあり方に切り込みつつも、読みやすいミステリー小説のような文体で考えられるため、選書しました。

国際地域文化研究科 博士前期課程2年（選書ツアー）

最低限の人間関係で生きていく：AI時代の割り切り型コミュニケーション



大嶋信頼著.
クロスメディア・パブリッシング, 2025.
BROW||360||114
無理をしない生き方をテーマにした一冊です。社会人になる前に、人間関係やストレスとの向き合い方を知っておくことで、より豊かな人生につながるでしょう。

地下鉄で隣に黒人が座ったら：イエロンの漫画日記



イエロン著; 村中千廣訳.
かもがわ出版, 2024.
BROW||360||115
ガーナ出身の彼氏を持つ韓国入女性によるエッセイ漫画です。マイクロアグレッションに関心のある方におすすめの一冊です。

あなたも図書館の資料を選んでみませんか？

学外書店選書ツアーは毎年春と秋に実施しています。本学の学生ならだれでも参加できます。詳しくは図書館Webページのお知らせをご確認ください。